

第6回日本子ども虐待防止歯科研究会

学術大会 趣意書

第6回日本子ども虐待防止歯科研究会学術大会

大会長 末瀬 一彦(一般社団法人奈良県歯科医師会会長)

大会実行委員長 吉田 美香(日本子ども虐待防止歯科研究会理事)

大会準備委員長 下岡 俊博(奈良県歯科医師会学術委員長)

【大会長挨拶】

このたび、「第6回日本子ども虐待防止歯科研究会・学術大会」を奈良県歯科医師会館で開催させていただくにあたり、ご挨拶を申し上げます。

本研究会は、2015年6月7日に日本大学歯学部において「設立集会」が開催されて以来、毎年定期的に全国で開催されてまいりました。設立時の発起人メンバーとして県歯会員の吉田美香先生（橿原高市地区）が加わっておられることは、今回の開催にあたって県歯としても絶大な支援をすところす。

さて、児童虐待は社会問題として注目され、2000年に児童虐待防止法が制定されて以来、児童虐待防止に向けた取り組みが全国レベルで整備されてきました。しかし、その発件数は年々増加しており、2019年の総数（0歳～18歳）は193,780件で毎年20%程度の増加率です。虐待者は両親が88.9%（実母47.7%、実父41.2%）を占め、悲惨な状況です。また、児童虐待には身体的虐待（殴る、ける、投げ落とすなど）、性的虐待（子どもへの性的行為など）、ネグレクト（家に閉じ込め、食事を与えない、不潔にするなど）、心理的虐待（言葉による脅し、無視、差別的扱いなど）があり、2019年の調査では、「心理的虐待」が56.3%を占め、次いで「身体的虐待」25.4%、「ネグレクト」17.2%になっています。さらに、虐待は精神的苦痛のみならず、「愛の鞭」と称した厳しい体罰によって前頭前野（社会生活に極めて重要）の容積が約20%減少し、言葉の暴力によって聴覚野が変形するという身体発育的障害も報告されています（福井大学 友田明美教授）。

虐待を受けている子どもの年齢は0歳～2歳19.5%、3歳～6歳25.6%、7歳～12歳34.0%で、ちょうどこの時期に私達歯科医療関係者は1歳6ヵ月歯科健診、3歳児歯科健診、就学時歯科健診そして学校歯科健診の場において日常的に子どもたちに接しています。さらに、日常の歯科診療時においても「かかりつけ歯科医」として子どもだけでなくその養育者とも関わりがあります。そのため、児童虐待の早期発見に歯科医療関係者はとても重要な評価者となります。また、母子・学校歯科保健領域においても妊産婦に対して口腔ケアや子どもの発育だけでなく、子育てにおける留意点についても教示する機会があると思います。

私たちは、歯科医療関係者として生活環境を包括した日常歯科診療の取り組みとともに、歯科健診や歯科保健指導などにおいて「虐待防止」に向けた啓発を積極的に行っていくとともに、一社会人としても、すべての子どもが健やかに育つ社会環境の実現に向けた施策を構築していかなければなりません。

日本の起源地である古都奈良で開催されます本研究会が「子ども虐待防止」の発信基地となり、会員および県民の皆様方にとりまして有意義な研究会になることを心より祈念申し上げます。

第6回日本子ども虐待防止歯科研究会大会長
（一社）奈良県歯科医師会 会長

末 瀬 一 彦

【開催概要】

1. 学科の名称

第6回日本子ども虐待防止歯科研究会学術大会

2. 大会テーマ

えっ！こんなはずじゃなかったのに？『目の前の小さなズレから始まった…』

3. 主催 日本子ども虐待防止歯科研究会

共催 奈良県歯科医師会

後援 奈良県

4. 会期 2021年11月7日(日)に Webex®にてライブ配信

後日1週間 YouTube Live®で見逃し配信を行う

4. 学会の目的

子ども虐待防止対策を多職種の見点から考えること

6. 開催計画の概要

予定プログラム：当日 Webex®において学術大会の内容を公開

後日1週間、内容を録画したものを YouTube Live®で配信する

7. 過去開催実績：設立記念大会(2015年) 設立発起人

渡部 茂 代表

第1回学術大会 東京都歯科医師会主宰

高橋哲夫 大会長

第2回学術大会 神奈川県歯科医師会主宰

鈴木俊介 大会長

第3回学術大会 広島県歯科医師会主宰

荒川信介 大会長

第4回学術大会 千葉県歯科医師会主宰

砂川 稔 大会長

第5回学術大会 日本子ども虐待防止歯科研究会主宰

仲野和彦大会長

8. 本学術大会の問合せ先

大会事務局：日本子ども虐待防止歯科研究会事務局 担当：佐藤祐子

〒541-0053 大阪市中央区本町 1-1-3 東京臨床出版内

jdspcan@torin-pub.co.jp (TEL:06-6264-7136 FAX:06-6264-7137)

9. 収支予算書

収支予算書

1 収入

科目	金額	備考
	650,000	非会員 @5,000×100人=500,000円 会員 @3,000×50人=150,000円
協賛金	150,000	広告 @30,000×3社=90,000円 寄付金 60,000円
自己負担金 (本会繰入金)	50,000	
合計	850,000	

2 支出

科目	金額	備考
報償金	635,000	講師料 @100,000×3人=300,000円 交通費 @50,000×2人=100,000円 @30,000×1人=30,000円 謝礼 @50,000×1人=50,000円 お茶代 @5,000×3人=15,000円 お車代 @10,000×2人=20,000円 宿泊費 @20,000×6人=120,000円
人件費	50,000	スタッフ @10,000×2人=20,000円 @30,000×1人=30,000円
需用費	73,000	チラシ 60,000円 封筒 1,000円 切手(120円) 12,000円
・印刷代		
役務費		
・通信費	50,000	通信費 50,000円
・消耗品	42,000	消耗品 42,000円
合計	850,000	

【大会プログラム】

2021年11月7日(日)にWebex®にてライブ配信
後日1週間、アーカイブをYouTube Live®で配信する

基調講演1 小児科医～夜泣きは大事なサイン

三池 輝久(熊本大学名誉教授、日本眠育推進協議会理事長)

基調講演2 耳鼻科医～小児の鼻閉・口呼吸・睡眠時無呼吸と耳鼻咽喉科

國弘 幸伸(国際医療福祉大学熱海病院耳鼻咽喉科 前教授・部長)

特別ゲスト挨拶

秀ノ山親方(元大関琴奨菊)

教育講演 児童虐待防止～小児科医の立場から

吉岡 章

(奈良県立医科大学名誉教授 前理事長・学長、奈良児童虐待防止ネットワーク「きずな」代表)

シンポジウム

倉西 道明(奈良県中央こども家庭相談センター所長)

岡田 悟(児童養護施設 大和育成園施設長)

日和 リカ(橿原市健康部 子育て支援課長)

来賓

金剛 真紀(奈良県こども・女性局長)

亀田 忠彦(橿原市市長)

【寄付金募集要綱】

- 1) 寄付金の名称：第6回日本こども虐待歯科研究会学術大会
- 2) 寄付期間：令和3年9月1日(水)から令和3年11月7日(日)まで
- 3) 寄付金の用途：第6回日本子ども虐待防止歯科研究会学術大会準備および運営の費用
- 4) 寄付金振込方法：
以下の大会用寄付申込書をFAXにて、大会事務局(FAX：06-6264-7137)まで送信のうえ、下記振込先にお振込ください。

【寄付金申込書】

第6回日本子ども虐待防止歯科研究会学術大会
大会長 末瀬 一彦 殿

令和3年 月 日

下記のとおり寄付を申し込みます。

金 _____ 円也

(振込予定日 令和 年 月 日)

御芳名又は法人名 _____ ⑩

〒 _____

御住所 _____

御担当者(部署) _____

TEL. _____

FAX. _____

E-mail. _____

【振込先】

大和信用金庫 八木(やぎ)支店 普通口座 口座番号 2170373

口座名義 第6回日本子ども虐待防止歯科研究会 学術大会 会計 宮脇聡子

【WEB 広告掲載要項】

- 1) 広告媒体名：
第6回日本子ども虐待防止歯科研究会学術大会ホームページ
または、当日のライブ動画・後日のアーカイブ動画
- 2) 広告掲載料：30,000円(税抜き)
- 3) 総依頼社数：5社程度
- 4) 広告規格：(バナー広告の場合)250×181ピクセル
- 5) 掲載日：(ホームページの場合)令和3年11月7日(日)より1年間
(ライブ・アーカイブの場合) 令和3年11月7日(日)とその後1週間
- 6) 広告原稿：イラストレーターまたはPDFデータをメールで送信してください。
担当：宇田川(udagawa@torin-pub.co.jp)
- 7) 申込締切日：令和3年10月20日(木)
(下記掲載申込書にご記入の上、FAXにてお申込みください) (FAX：06-6264-7137)
- 8) 費用振込：運営事務局より、請求書をお送りいたします。
- 9) 広告原稿締切日：令和3年10月31日(金) (メールにて送信してください。)

【WEB 広告掲載申込書】

第6回日本子ども虐待防止歯科研究会学術大会
大会長 末瀬 一彦 殿

令和3年 月 日

WEB 広告掲載を申し込みます。

御芳名および法人名[Ⓔ]

〒 _____

御住所 _____

御担当者(部署) _____

TEL. _____

FAX. _____

E-mail. _____